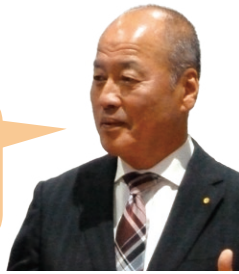


すべての人が投票しやすい環境づくりを



録画配信

答 弁 必要な支援がスムーズに受けられるよう取り組む
(町長)

くろかわ けんじ 議員
黒川 啓 議員

問 自分で投票用紙に書くことができない方や視覚に障がいがある方の投票方法はあるか。

答 総務課長
心身の故障、その他の事由により候補者の氏名を記載することができない方の投票方法は、代理投票の制度が利用できる。投票所の係員が付き添い、本人の意思に基づき氏名を記載する。なお、付き添いの家族や介護者などの代筆はできない。

問 一人で投票できない方に対して、家族や介護者が投票所内で支援することは可能か。

答 総務課長
付き添いや看護が必要な場合は、一緒に入り、必要な支援をすることは可能。しかし、投票

の秘密を守ることや本人以外の干渉を避けるため、記入や投票の際は係員が介助を行う。

問 郵便による不在者投票ができる方の条件、またその方法は。

答 総務課長
重度の障がいがある方や要介護5の方が対象の制度。選挙管理委員会から郵便等投票証明書の交付を受け、投票用紙などの請求を行う。送付されてきた投票用紙に記入し、投票用封筒に入れ、選挙管理委員会に送付することで投票できる。

問 聴覚や発声に障がいがある方が困りごとを伝える方法でコミュニケーションボードを使用している自治体もあるが、使用

する考えは。

答 総務課長
聴覚や発声に障がいがある方には、筆談によって対応してきたが、筆談よりも円滑に意思疎通ができることから、導入することにした。

問 投票所で必要な支援を簡単に伝えることができる「投票支援カード」を導入する考えは。

答 総務課長
支援が必要な方が利用することによって、口頭で説明をすることなく、支援をスムーズに受けることができることから、コミュニケーションボードと同様、導入することにした。



誰もが投票しやすい環境の整備を

質問を終えて

平等に選挙に参加でき、また、誰もが投票しやすい環境となることで、投票率が上昇することを願う。

「苺」をシンボルにした子育て支援のまちづくりを



録画配信

答 弁 「子育てするなら宇美町で」につながるなら活用したい
(町長)

こばやし たかお 議員
小林 孝昭 議員

の波及効果が期待できる。

問 本町のふるさと納税における苺の申込件数は。本町での苺生産のメリットは。

答 シティプロモーション課長
福岡県産苺「あまおう」を1万1445件。パック数では5万1500パック、苺のみの金額は4120万円となる。

町内生産できれば、税収増や町内での経済循環により多方面

高い。サポートは行いが、最終的には生産者の意欲と設備投資に係る資金、事業計画が重要となる。

問 「苺×宇美町」を活用した観光振興やイベント開催の可能性は。

答 シティプロモーション課長
苺の生産が先か、苺を使ったイメージ戦略が先かはありますが、観光振興やイベント開催では町内事業者の協力も必要となる。そこにたどり着くまでの「苺×宇美町」のストーリーの確立がなにより重要だと考える。

問 苺の生産が可能となった際、子どもたちに学校の授業でA-Iを使用したスマート農業の体験

や食育につなげられないか。

答 学校教育課長
町内でスマート農業をされる方がおり、地域連携ができれば体験学習は可能。

また、学校で行う「食に関する指導」や家庭・地域で行う「食育」につなげることも可能だと思う。

問 「苺×宇美町×A-I(愛)」お母さんと子どもを大切に育てる町」を発信し、未来の世代に繋いでいくまちづくりへの考えは。

答 こどもみらい課長
苺の生産と関連した取組は行っていないが、今後、苺を使った子育て支援の取組が可能で、それを町内外に発信できれば、



苺生産から子どもの育ちを応援

質問を終えて

より一層、取組に厚みが増すものではないかと考える。

草冠に母と書く「苺」をシンボルとすることで、新たな宇美町の価値をうみ出せるのでは。

町の下水道は安全か



録画配信

答 弁 更新計画を立て、適切な点検・予防を行っていく
(町長)

なるみ けんじ 議員
鳴海 圭矢 議員

問 埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、国土交通省から下水道管施設緊急点検の通達が出されたが、最新点検結果は。

答 上下水道課長
今年度は、一部の幹線管路をテレビカメラで調査を行った。四王寺坂や若草、光正寺地区の面整備管についても点検しているが、老朽化などによる緊急性を伴うものは見受けられなかった。

問 今回の事故を受けて、下水道整備の予算配備に変更はないか。

答 上下水道課長
現時点では変更はないが、交付金の配分などによる国・県の動向を見ながら対応していく。

問 本町で八潮市のような大規模な下水道管破損事故が起きる可能性は。

答 上下水道課長
八潮市の事故は4750ミリの大口径下水道管であり、本町と規模に大きな差があるため、大規模な事故が起こることは考えにくい。ただし、規模が異なるとはいえ、老朽化、腐食による破損は起こり得る。

問 補修のために水道料金を値上げせずにすむよう、今から老朽化への備えが必要ではないか。

答 上下水道課長
下水道管理設から37年経過(耐用年数50年)。現在まで老朽化や腐食による修繕・更新はない。

今後、既存の管内に樹脂コーティングを行うなど、将来を見据えた更新計画を検討する。

問 万が一、下水道管の破損事故が起きた場合の対応は。

答 上下水道課長
仮に破損した場合、場所によっては広範囲での下水道の使用ができなくなり、使用制限をかけたり、汲み取り運搬などの対応が必要となる。自然流下で処理する下水道管の破損は緊急的な対応が難しいことから、適切な点検と予防が大事と考える。



1200 か所の目視点検

質問を終えて

耐用年数まではまだ猶予があるため、今からしっかりと対策を練ってもらいたい。

一般質問

一般質問